

メタンハイドレート開発計画の促進

政策提言先 資源エネルギー庁

政策提言の要旨

メタンハイドレートの実用化に向けた取り組みを加速化させるとともに、メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアムにおいて、土佐沖でのメタンハイドレートの賦存量などの詳細な調査を実施することにより、わが国のエネルギーの安全保障としての対応を図ることを提言します。

【政策提言の具体的内容】

- ①エネルギーの安全保障の対策としても有効であるメタンハイドレートの実用化に向けた取り組みを加速化するよう提言します。
- ②メタンハイドレートが広く分布すると推定されている土佐沖での詳細な賦存量調査を実施するよう提言します。

【政策提言の理由】

- ①メタンハイドレート資源の開発は、現在、フェーズⅡへと移行され、主に我が国近海での海洋産出試験が実施されることとなっておりますが、メタンハイドレート開発計画は、平成30年度までに「商業化の現実に向けた技術の整備」を図るとされています。
エネルギーの安全保障の観点からも、純粋国産のエネルギーとして期待されるメタンハイドレートの実用化を早期に実現する必要があります。
- ②将来、商業化される際に、メタンハイドレートの賦存量調査の詳細なデータ等が存在することが有益であると考えられることから、商業化の目途が立ち次第直ちに採掘に着手できるよう、メタンハイドレートが広く分布すると推定されている土佐沖での詳細な賦存量調査を実施する必要があります。